

＜食料環境経済学科＞（認定課程 高一種免（農業））

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	農業経済、農業経営、農政、流通、消費、フードシステム等を中心に農業経営者をはじめ、以上を理解した職業人のための基礎を培うとともに、語学や人文・社会科学、自然科学も学んで広い教養を養う。教職についての理解を深め、教員としての適性を確認する。
	後期	農業経済、農業経営、農政、流通、消費、フードシステム等を理解した職業人としての基礎知識を身につけるとともに、ディスカッションし報告するためのスキルを身につける。
2年次	前期	農業経済、農業経営、農政、流通、消費、フードシステム等のより実践的知識を身に付け、考える態度を身に付けるとともに、引き続き広い教養を養う。教職の基礎を理解し、将来の進路について考える。
	後期	農業経済、農業経営、農政、流通、消費、フードシステム等のより実践的知識を身に付ける。上記の知識を基に現場での解決能力を高めるために、現場の農業問題について研究するための研究方法を身に付ける。高等学校農業科教員として必要な基礎的な科学的知識を再確認する。
3年次	前期	引き続き現場の農業問題について研究するための研究方法を身に付ける。農業科教員として必要な指導法、高等学校教員として必要な指導法を身に付ける。
	後期	農業経済、農業経営、農政、流通、消費、フードシステム等を中心にこれらを理解した職業人について、インターンシップを通して関心を高め、将来の進路を考える。卒業研究で取り組むテーマをおおまかに決める。引き続き農業科教員として必要な指導法を習得するとともに、教育実習に臨むための態度を確立する。
4年次	前期	農業問題についての社会科学的なテーマを定め、調査を進める。教育実習をすることで、大学で学んだ知識・技術を確認するとともに、教師の仕事について理解を深め、教員としての資質を確認する。
	後期	農業経済、農業経営、農政、流通、消費、フードシステム等を中心にこれらを理解した職業人として現場の農業問題に対する解決力がどれだけ身に付いたのか確認し、それを社会でどう生かすのか考える。高等学校農業科教師として必要な資質能力がどれだけ形成されたか振り返る。